

## 高等学校「家庭科」(専門教科)改訂のポイント

- 原則履修科目：「生活産業基礎」「課題研究」
- 科目構成：「被服製作」を「ファッション造形基礎」と「ファッション造形」に再構成するなど現行の19科目から20科目で構成
- 主な改善事項
  - ・消費者ニーズの的確な把握や必要なサービス提供等を行う企画力やマネジメント能力の育成への対応
  - ・生活文化の伝承や消費、環境への対応
  - ・職業人として求められる倫理観の育成や食の安全等への対応

### (1) 科目構成(次ページ参照)

### (2) 各科目の改善事項

- 「生活産業基礎」において、消費者のニーズを把握し、生活の変化に対応した商品・サービスの企画・開発から販売・提供する内容を扱うことを明示するなど内容を充実。
- 「消費生活」において、消費者と企業や行政とのかかわり及び連携の在り方等に関する内容を取り扱うことを明示するなど内容を充実。
- 「リビングデザイン」において、日本と世界の住生活と文化にかかわる内容を充実。
- 「服飾文化」において、日本と世界の服飾にかかわる内容を充実。
- 「消費生活」において消費生活と環境とのかかわりや持続可能なライフスタイルの形成に関する内容を充実。
- 教科の目標に、生活産業を取り巻く諸課題を倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発展を図る能力と態度を育てることを明記。
- 「食品」において、食品の表示にかかわる法規や制度など取り扱うことを明示し、食品を適切に選択、活用して食生活の充実向上を図る内容を充実。

### 教科「家庭」の科目構成

改 訂 案	現 行	備 考
生活産業基礎	生活産業基礎	
課題研究	課題研究	
生活産業情報	家庭情報処理	名称変更
消費生活	消費生活	
子どもの発達と保育	発達と保育	名称変更
子ども文化	児童文化	名称変更
生活と福祉	家庭看護・福祉	名称変更
リビングデザイン	リビングデザイン	
服飾文化	服飾文化	
ファッション造形基礎	被服製作	分類整理
ファッション造形		
ファッションデザイン	ファッションデザイン	
服飾手芸	服飾手芸	
フードデザイン	フードデザイン	
食文化	食文化	
調理	調理	
栄養	栄養	
食品	食品	
食品衛生	食品衛生	
公衆衛生	公衆衛生	